



工業品

# 株式会社 Noz

バイク用アフターパーツの販促品として制作した子ども用木製自転車が好評だったことから、木製ベビー・キッズ家具の企画、制作、デザインを手掛けるようになった。中国で生産を行い、香港、台湾へと輸出。2018年から欧州へも輸出を開始した

展開国・地域 2012年 香港、台湾、中国  
2018年 オーストリア、ドイツ、英国、スイス

企業情報 所在地: 兵庫県宝塚市 従業員数: 50名  
設立: 1999年9月 URL: www.nozjapan.com/

事業内容 バイク用アフターパーツの企画、制作、デザイン、製造、卸、販売  
ベビー・キッズ家具の企画、制作、デザイン、卸売、販売



- 1 海外でのHoppl展示会の様子
- 2 来場客の興味に商品紹介にも熱が入る
- 3 実際に商品に座って商談を行う事で良さを実感できる
- 4 直営店の店内ディスプレイ



## 家具の本場ヨーロッパに打って出る

もともとはバイクのアフターパーツを作っていました。販促品として最初に作ったのが、欧州文化では主流の子ども用のペダルがない木製自転車でした。子どものバランス感覚を養うため、子どもたちに乗せてあげたりしていました。これが好評だったのでHOPPL(ホップル)というブランドを立ち上げ、中国で生産を開始しました。併せて、木製のベビー・キッズ用家具「コロコロチェア&デスク」の生産・販売も開始しました。この家具は、年齢や用途に合わせて形を変えることにより長く使え、最終的には大人も使えるというのがコンセプトで制作しました。2012年にキッズデザイン賞を受賞すると、香港の家具を取り扱う会社から引き合いをいただいたので、輸出を開始しました。これまでもバイクのパーツを中国から輸入していたので、海外取引に対して抵抗はありませんでした。その後、東京の展示会に出品すると、台湾、中国からも引き合いが来まして、その次のステップとして、2018年に家具の本場欧州に打って出ました。

## まずジェット口のホームページを見ることから始めた

欧州を選んだ理由は、ベビーの家具、ファッション、ライフスタイルに関して、欧州ブランドが日本国内でトレンドになってきているためです。欧州で販売することによって、ブランドのステータスが高められ、ひいては国内の販売力につながると考えました。欧州進出に当たっては、文化の違いや考え方などが全く分からないので、調べていくのが大変でした。そこで、まずジェット口のホームページを見ることから始めて輸出支援のための専門家を活用できる「新輸出大国コンソーシアム」があることを知って応募しました。安全基準の法規制などに関し専門家のサポートを受けながら進めていきました。

## 相談できる相手がいるのといないのとでは その後の進展が全然違う

海外進出する際は、誰もがすごく不安だと思います。しかし、ジェット口をはじめサポート機関があるので、まずはそういうところに相談するのが一番良いと思います。相談できる相手がいるのといないのとでは、進展の具合が違います。弊社も欧州現地では、ジェット口専門家を頼りにしていました。今まで自分たちだけで調べていた時よりも、すぐに聞けて、調べてくれて、情報を取ってきてくれるという点に大変助けられました。また、過去に成功した事例であったりとか、失敗談だったりとかを聞かせてもらうことで、やらなくてはいけないことなど必須事項を絞り込むことができました。既に分かっているところに聞くのが何よりも一番早いと思います。まずは動いてみることも大切ですが、何も分からずに海外に行くよりも、まずは相談してみてください。そして、自分たちの商品の強みというものを全面に出していけたら良いと思います。



高められます  
ブランドのステータスが  
欧州で販売することで、

代表取締役  
野澤 重幸 氏



### 専門家からのポイント

企業トップ自らが強い意志と明確な事業方針、目標の共有を担当チームに浸透させたことで指導、助言に対しても非常に前向きな姿勢と実践を行えました。また、商品の質の高さはさることながら展示会ブースの設営、運営にも工夫を凝らし、現地スタッフを使い効率を高めつつ動画などを使用して効果的なプレゼンテーションを行うことで期待以上の集客と商談の機会を得ることができました。定期進捗状況のチェック(PDCA)を共に実施したり、またシナリオ作りなどにより道筋を示し選択判断できるよう支援には注意を払いました。